

ハバロフスク地方はきれいな水域のため力を入れています！

- 1 **自治体名**：ハバロフスク地方
- 2 **発表者名（所属名）**：
アリョナ・セムチュック（ヴァニノ町、第3号総合学校）
アレクサンダー・ポティカロフ（コムソモリスク・ナ・アムール市第14号総合学校）
- 3 **活動名**：水域の岸の清掃活動
- 4 **活動期間**：2014年4月－9月、2015年4月－6月
- 5 **活動場所**：ハバロフスク地方
- 6 **活動参加人数**：150,000人以上
- 7 **活動を始めた経緯**：汚染から水域を守るため活動を始めた

8 発表要旨

ハバロフスク地方はロシア連邦の極東地方の中心に位置しています。南から北までほぼ1800キロの距離があります。ハバロフスク地方はオホーツク海と日本海（間宮海峡）に囲まれています。地方では21万本の川が流れ、全ての長さを合わせると58万4千キロにも及びます。（それは赤道の長さの14倍以上になります。）川の大部分はアムール川流域に含まれています。アムール川はロシアの最も大きい川の一つです。また、ハバロフスク地方には5万8千の湖があります。

私たちは川辺、海辺の清掃に特に力を注いでいます。多くの利用者がゴミを放置していくということがよく知られています。そのゴミが分解されるまでにはとても長い時間がかかります。捨てられたゴミが川、湖、海に流れ込み、汚染された水域では生物が消えていきます。

水域汚染防止及び天然資源保全の必要性について、住民の関心を集める目的で、4月15日から7月末までの期間、ハバロフスク地方ではアクション「環境を危機から守るデー」が宣言されました。この期間中「アムール川デー」というイベントの枠組みの中で、川岸の清掃が行われます。各地域で実施されている「きれいな川」、「きれいな岸」等のイベントには、子供から大人まで多くの人々が参加しています。

さらに、毎年、ハバロフスク地方は「川と湖にきれいな岸を」というロシアの各地で行われているイベントにも参加しています。そのために、特に汚染されている個所を清掃します。最近では、回収したごみは必ず分別して処分しています。

このような活動は、地球上に生息するすべての生命にとって水が大切であることを改めて認識させてくれます。活動の目的は、自然を大事にすることを日ごろの当たり前のマナーにすることですが、自然を保護することは、天然資源をさらに増やすために不可欠なことです。

環境文化を育てる目的で、ハバロフスク地方では4年間、固形廃棄物工作コンクールを開催しています。この活動の目的の一つは、ハバロフスク地方の環境問題を解決するために、子供たちの積極的な姿勢を形成させることです。行事は以下のような流れで行われます。まず、固形廃棄物の問題について講演会が行われます。次に、地域の清掃活動を行います。そして最後に、廃棄物を材料にした作品を作ります。

毎年、秋季に、ヴァニンスキーとソヴェツコ・ガヴァンニスキー地区では国際的な事業である「海辺の漂着物調査」が行われます。

実践活動の他に、川、湖、海などの水域をはじめとする、環境問題について注意喚起する講座や、コンクール、フェスタ等の多くの啓発行事が行われています。

例えば、ヴァニンスキー地区では次の行事が行われます。「大洋は統一生態系」、「自然の中の相互関係」、「水の循環」という講演会、「どんな魚か当ててごらん!」、「一滴の旅」というゲーム、「水の世界を守ろう!」、「海の国際デー」というフェスタ等です。

ヴァニノ・タウンの校外活動センターでは、環境を大切にする必要性について住民の注意を向ける目的で、地元の新聞に記事を掲載しています。さらに、教師と生徒が「エコヴェスニック」という新聞を出版しています。その新聞で日ごろ行っている活動について紹介しています。

海岸、川岸の環境のお世話を私たちが引き受けます。それぞれの方が自分なりに自然保護に貢献できます。ポイ捨てしない! ゴミを持ち帰るように呼び掛ける! 清掃活動を行う! 環境を大切にし、身をもって大人と子供のお手本となる!